

水生生物の保全に係る環境基準の類型指定（案）について

(1) 相模川

① 河川

水温分布や生息状況に係る当該区間に関する以下の情報を踏まえると、小沢頭首工を一つの区分点と考え、小沢頭首工より上流を比較的低温域を好むと考えられる魚介類（以下「冷水性の魚介類」という）の生息する水域と考えることが適当である。また、小沢頭首工より下流は、冷水性の魚介類が生息することは困難な水域として、比較的高温域を好むと考えられる魚介類（以下「温水性の魚介類」という。）の生息する水域に区分することが適当である。

・水温分布

上流の相模川上流(1)では平均水温 13℃程度であるが、下流に向かうに従って上昇し、相模川中流の昭和橋付近では平均水温 15℃となっている。昭和橋から下流は水温が上昇しており、馬入橋では平均水温 17℃程度となっている。

・生息状況

冷水性の魚介類については、河川水辺の国勢調査（国土交通省）（以下「実地調査」という。）の結果によると、小沢頭首工等でカジカ(大卵型)が確認されている。また、専門家からのヒアリングによると、山梨・神奈川県境(境川橋)から上流部にヤマメ及びイワナの生息情報がある。

温水性の魚介類については、実地調査及び専門家からのヒアリングによると、城山ダムより下流の全域で生息情報がある。

なお、実地調査によると、ワカサギ及びアユが確認されている。

② 水域類型の指定について

相模川については、小沢頭首工を区分点に上流側を河川の生物 A、下流側を生物 B とすることが適当である。

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、環境基準値を超過している地点もあるが、同じ地点で継続して環境基準値を越えることはなく、平成 18 年度、19 年度では測定した地点すべてにおいて環境基準以下となっている。このことを踏まえて、達成期間は直ちに達成とすることが適当である。ただし、今後とも当該水域の水質状況に十分留意して水質の監視を行っていく必要がある。

(2) 富士川

① 河川

水温分布や生息状況に係る当該区間に関する以下の情報を踏まると、笛吹川合流点を一つの区分点と考え、笛吹川合流点より上流を冷水性の魚介類の生息する水域とすることが適当である。また、笛吹川合流点より下流は、冷水性魚類の生息することは困難な水域として、温水性の魚介類の生息する水域に区分することが適当である

・水温分布

上流の富士川(1)では平均水温 12～13℃程度。下流に向かうに従って上昇し、富士川(2)の三群西橋より下流において平均水温 16℃程度。

・生息状況

冷水性の魚介類については、実地調査の結果によると、上三吹及び船山橋でアマゴが確認されている。また、専門家からのヒアリングによると甲府盆地（苗吹川合流点周辺）から上流にアマゴの生息情報がある。

温水性の魚介類については、実施調査によると、全域でコイ、フナ類、ウグイ、ドジョウ、ナマズ等が確認されている。

なお、実地調査によると、全域でアユが確認されている。

② 水域類型の指定について

富士川については、笛吹川合流点を区分点に、上流側を河川の生物A、下流側を生物Bとすることが適当である。

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、環境基準値以下を推移していることから、達成期間は直ちに達成とすることが適当である。

(3) 天竜川

① 河川

水温分布や生息状況に係る当該区間に関する以下の情報及び既存の生活環境項目の類型区分を踏まえると、天竜川鹿島橋より上流を一つの区分点と考え、天竜川鹿島橋より上流を冷水性の魚介類が生息する水域とすることが適当である。また、天竜川鹿島橋より下流は、冷水性の魚介類が生息することは困難な水域として、温水性の魚介類の生息する水域に区分することが適当である。

・水温分布

上流の天竜川(1)、(2)では平均水温 14℃程度、中流に向かうに従って下降し、天竜川(3)では平均水温 12～13℃程度。その後下流に向かうに従って上昇し、天竜川(4)、(5)では平均水温 15～16℃程度。

・生息状況

冷水性の魚介類については、実地調査の結果によると、北の城橋より上流でニジマスが、天竜大橋等でイワナが、田沢川合流点等でニッコウイワナが、塩見渡橋より上流でアマゴが確認されている。また、専門家からのヒアリングによると、船明ダムより上流でアマゴの生息情報がある。

温水性の魚介類については、実地調査及び専門家からのヒアリングによると、全域で生息情報がある。

なお、実地調査によると、ワカサギ及びアユが確認されている。

② 佐久間ダム貯水池

当該水域に関する以下の情報及び河川で議論したダムの上流及び下流側の生息環境及び状況を踏まえると、冷水性の魚介類の生息域と考えられる。

・水温分布

表層で、平均水温 16℃程度。

・生息状況

漁協からのヒアリングによると、ニジマスの生息情報がある。

③ 水域類型の指定について

天竜川については、天竜川鹿島橋を区分点に上流側を河川の生物A、下流側を生物B、佐久間ダム貯水池は湖沼の生物Aとすることが適当である。

この場合、当該水域の全垂鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、環境基準値以下で推移していることから、達成期間は直ちに達成とすることが適当である。

(4) 木曾川

① 河川

水温分布や生息状況に係る当該区間に関する以下の情報を踏まえると、中濃大橋を一つの区分点と考え、中濃大橋より上流を冷水性の魚介類が生息する水域とすることが適当である。また、中濃大橋より下流は、冷水性の魚介類が生息することは困難な水域として、温水性の魚介類の生息する水域に区分することが適当である。

・水温分布

木曾川上流で平均水温 12℃程度。下流に向かうに従って上昇し、木曾川下流の濃尾大橋より下流で平均水温 15～16℃程度。

・生息状況

冷水性の魚介類については、実地調査の結果によると、玉蔵大橋及び中濃大橋でアマゴが確認されている。専門家のヒアリングによると恵那市(笠置ダム周辺)より上流でイワナの生息情報がある。漁協のヒアリングによると笠置ダムから今渡ダムの区間でニジマスの生息情報がある。

温水性の魚介類については、実地調査及び専門家からのヒアリングによると、全域で生息情報がある。

なお、実地調査によると、アユが確認されている。

② 味噌川ダム貯水池

当該水域に関する以下の情報及び河川で議論したダムの上流及び下流側の生息環境及び状況踏まえると、冷水性の魚介類の生息域と考えられる。

・水温分布

表層で、平均水温 12℃程度

・生息状況

漁協からのヒアリングによるとイワナの生息情報がある。

③ 水域類型の指定について

木曾川については、中濃大橋を区分点に、上流側を河川の生物 A、下流側を生物 B、味噌川ダム貯水池は湖沼の生物 A とすることが適当である。

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、環境基準値以下で推移しており、達成期間は直ちに達成とすることが適当である。

(5) 揖斐川

① 河川

水温分布や生息状況に係る当該区間に関する以下の情報を踏まえると、岡島橋を一つの区分点と考え、岡島橋より上流を冷水性の魚介類が生息する水域とすることが適当である。また、岡島橋より下流は、冷水性の魚介類が生息することは困難な水域として、温水性の魚介類の生息する水域に区分することが適当である。

・水温分布

揖斐川(1)の岡島橋より上流では平均水温 12～13℃程度。岡島橋より下流に向かうに従って上昇し、揖斐川(3)の福岡大橋より下流で平気水温 15～16℃。

・生息状況

冷水性の魚介類については、実地調査の結果によると、岡島頭首工でアマゴが確認されている。また、専門家からのヒアリングによると、揖斐川町（岡島橋周辺）より上流でイワナの生息情報がある。

温水性の魚介類については、実地調査及び専門家に対するヒアリングにおいて全域で生息情報がある。

なお、実地調査によると、アユが確認されている。

② 横山ダム貯水池

当該水域に関する以下の情報及び河川で議論したダムの上流及び下流側の生息環境及び状況を踏まえると、冷水性の魚介類の生息域と考えられる。

・水温分布

表層で、平均水温 12℃程度。

・生息状況

実地調査の結果によると、冷水性の魚介類としてアマゴの生息が確認されている。

また、温水性の魚介類の生息の確認及び生息情報がある。

③ 水域類型の指定について

揖斐川については、岡島橋を区分点に上流側を河川の生物A、下流側を生物B、横山ダム貯水池は湖沼の生物Aとすることが適当である。

この場合、当該水域の全重鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、環境基準値以下で推移していることから、達成期間は直ちに達成とすることが適当である。

(6) 長良川

① 河川

水温分布や生息状況に係る当該区間に関する以下の情報を踏まえると、藍川橋を一つ区分点と考え、藍川橋より上流を冷水性の魚介類が生息する水域とすることが適当である。また、藍川橋より下流は、冷水性の魚介類が生息することは困難な水域として、温水性の魚介類の生息する水域に区分することが適当である。

・水温分布

長良川上流で平均水温 12～13℃程度。下流に向かうに従って上昇し、長良川下流の穂積大橋より下流で平均水温 15～16℃程度。

・生息状況

冷水性の魚介類については、実地調査の結果によると、吉田川合流点及び板取川合流点でアマゴが確認されている。専門家からのヒアリングによると、美濃市(下渡橋周辺)より上流でイワナの生息情報がある。また、漁協からのヒアリングによると、郡山市白鳥町と郡山市高鷲村の境界(向山橋)から上流においてイワナの生息情報、郡山市八幡町と郡山市美並村の境界(亀尾島川合流点付近)から上流、岐阜市上芥見(藍川橋)から上流においてそれぞれアマゴの生息情報がある。

温水性の魚介類については、実地調査及び専門家からのヒアリングによると、全域で生息情報がある。

なお、実地調査によると、アユが確認されている。

② 水域類型の指定について

木曾川については、藍川橋を区分点に、上流側を河川の生物A、下流側を生物Bとすることが適当である。

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、環境基準値以下で推移しており、達成期間は直ちに達成とすることが適当である。

(7) 淀川

① 河川

水温分布や生息状況に係る当該区間に関する以下の情報を踏まえると、全区間において温水性の魚介類が生息すると考えることが適当である。

・水温分布

上流付近で平均水温 17℃程度。下流に向かうにしたがって上昇し、下流域では平均水温 18℃程度。

・生息状況

冷水性の魚介類については確認されていない

温水性の魚介類については、実施調査の結果によると、全域でコイ、フナ類、オイカワ、ヨシノボリ等が確認されている。

② 水域類型の指定について(案)

淀川については、全区域を生物 B とすることが適当である。

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、環境基準値以下で推移しており、達成期間は直ちに達成とすることが適当である。

(8) 神崎川

① 河川

水温分布や生息状況に係る当該区間に関する以下の情報を踏まえると、全区間において温水性の魚介類が生息する水域と考えることが適当である。

・水温分布

全域で平均水温 17～20℃程度。

・生息状況

冷水性の魚介類は確認されていない。

温水性の魚介類については、実施調査及び専門家からのヒアリングによると、全域でコイ、フナ類、オイカワ、ボラ等が確認されている。

②水域類型の指定について(案)

神崎川については、全区域を生物 B とすることが適当である。

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、平成 17 年度に補助点で環境基準値を超過している地点があるものの、継続して環境基準値を超えることはないことから、達成期間は直ちに達成することが適当である。ただし、今後とも当該水域の水質状況に十分留意して水質の監視を行っていく必要がある。

(9) 猪名川

① 河川

水温分布や生息状況に係る当該区間に関する以下の情報を踏まえると、ゴルフ橋／虫生地点を一つの区分点と考え、ゴルフ橋／虫生地点より上流を冷水性の魚介類の生息する水域とすることが適当である。また、ゴルフ橋／虫生地点より下流は、冷水性の魚介類が生息することは困難な水域として、温水性の魚介類の生息する水域に区分することが適当である。

・水温分布

平均水温は北谷橋で概ね 15℃以下。出会橋からゴルフ橋付近までが 15℃前後、それより下流では少しずつ高くなっており、最下流で平均水温が 20℃程度。

・生息状況

冷水性の魚介類については、専門家からのヒアリングによると、ゴルフ橋／虫生より上流にアマゴの生息情報がある。

温水性の魚介類については、実地調査の結果によると、全域でコイ、フナ類、オイカワ、ヨシノボリ等が確認されている。

なお、実地調査によると、アユが確認されている地点がある。

② 水域類型の指定について(案)

猪名川については、ゴルフ橋／虫生地点を区分点に、上流側を河川の生物 A、下流側を生物 B とすることが適当である。

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、平成 18 年度に補助点で環境基準値を超過している地点があるものの、継続して環境基準値を超えることはないことから、達成期間は直ちに達成することが適当である。ただし、今後とも当該水域の水質状況に十分留意して水質の監視を行っていく必要がある。

(10) 木津川

① 河川

水温分布や生息状況に係る当該区間に関する以下の情報を踏まえると、久米川合流点を一つの区分点と考え、久米川合流点より上流を冷水性の魚介類が生息する水域とすることが適当である。また、久米川合流点より下流は、冷水性の魚介類が生息することは困難な水域として、温水性の魚介類の生息する水域に区分することが適当である。

・水温分布

久米川合流点上流域では平均水温が概ね 15℃以下。下流へ向かうにしたがって高くなり、三川合流点前では平均水温が 22℃程度。

・生息状況

冷水性の魚介類については、漁協からのヒアリングによると、久米川合流点付近より上流にアマゴの生息情報がある。

温水性の魚介類については、実地調査の結果によると、全域でオイカワ、ヨシノボリ等が確認されている。

なお、実地調査によると、アユが確認されている地点がある。

② 水域類型の指定について(案)

木津川については、久米川合流点を区分点に、上流側を河川の生物 A、下流側を生物 B とすることが適当である。

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、環境基準値以下を推移していることから、達成期間は直ちに達成とすることが適当である。

(11) 琵琶湖

① 湖沼

水温分布や生息状況に係る当該区域に関する以下の情報を踏まえると、現行の生活環境項目の水域類型「琵琶湖（１）」と「琵琶湖（２）」の区分点である琵琶湖大橋より上流を冷水性の魚介類の生息する水域と考えられる。

・水温分布

琵琶湖（１）の平均水温は 16～17℃程度であるが、ビワマスが生息する最も浅い深さである水深 20 メートルでは平均水温 12～13℃程度であり、それより深い水深では、さらに平均水温は下がる。琵琶湖（２）の平均水温は 17℃前後であり、水深 5 メートルまでの平均水温も同程度である。

・生息状況

冷水性の魚介類については、実地調査の結果によると、琵琶湖大橋より上流（以下「北湖」という。）に琵琶湖固有種であるビワマス（サケ科）が夏期には比較的深度の深い水域に生息域を変えるものの通年生息している。琵琶湖大橋より下流（以下「南湖」という。）では、平成 19 年 11 月に定置網に標識放流魚（北湖への放流）が 3 個体捕獲されたが、その後捕獲の情報はない。また平成 18 年より市民グループによる南湖流入河川へのビワマス放流が行われているが放流河川にビワマスが戻ったという報告はない。

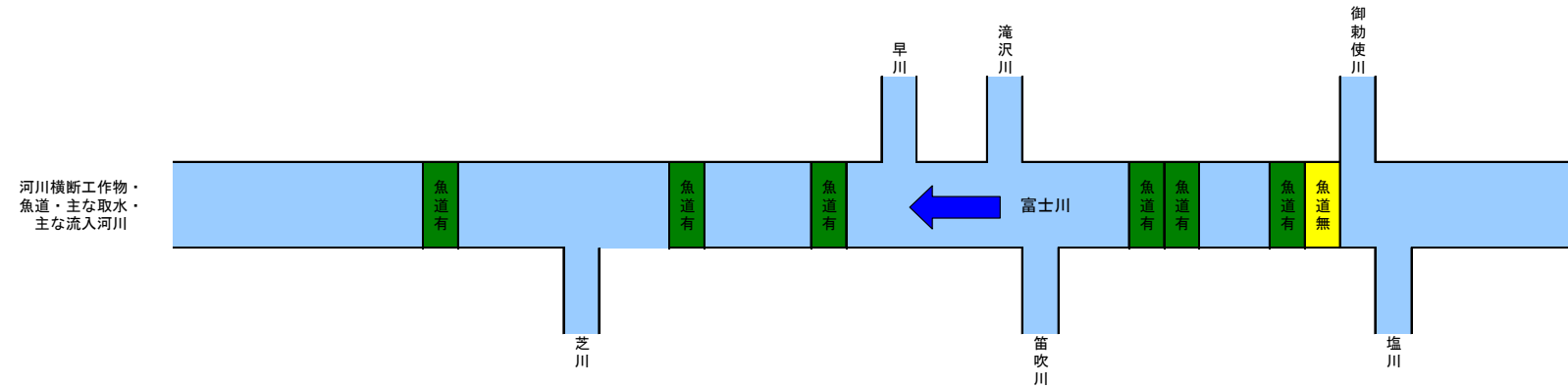
温水性の魚介類については、実地調査の結果によると、全域でコイ、フナ類、ウグイ、ヨシノボリ、テナガエビ等が確認されている。

② 水域類型の指定について(案)

琵琶湖については、北湖を生物 A、南湖を生物 B とすることが適当である。

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、これまでの年間を通じた調査の結果、環境基準値以下を推移していることから、達成期間は直ちに達成とすることが適当である。

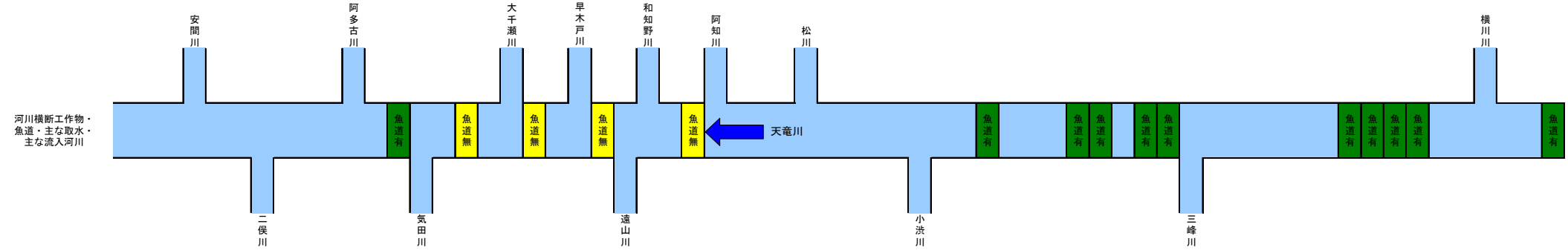
2. 富士川



水系名	富士川(4)															富士川(3)					富士川(2)					富士川(1)								
既存生活環境項目の種類指定	A															A					A					AA								
水質調査地点名 流量観測地点名等	河口部				富士川橋	四ヶ郷堰	蓬来橋	北松野			堰 日軽金十島取水堰	南部橋	身延橋	堰 日軽金塩之沢取水堰	帯金	富士橋	清水橋	笛吹川合流点	三郡西橋	一本杉頭首工	上堰頭首工	信玄橋	高岩堰	四ヶ村堰	塩川合流点	船山橋	上三吹	国界橋	武智川合流点上					
kp					4.2						22.7				40.8						72	76.8		78.4	79.4									
●:環境基準点 ○:補助点 △:流量観測地点 □:類型区分点					●								●	□			●	△	□	●			○			□	●	△	○	○				
魚道					○						○				○						○	○		○	×									
河川横断工作物					四ヶ郷堰						日軽金十島取水堰				日軽金塩之沢取水堰					一本杉頭首工	上堰頭首工		高岩堰	四ヶ村堰										
平均水温	平均水温15℃程度より高温															平均水温15℃程度(14~16℃)					平均水温15℃程度より低温													
水生生物生息状況	生物A		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●			
	生物B		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●			
保護水面等重要水域																																		
河床材料	礫や砂が主体																																	
低水流量 (m³/s)	25.1															48.4					10.4													
※流量観測地点における情報を表示 出典:流量年表(国土交通省河川局編H14)	[Bar chart showing flow rates at various points]																																	
主な取水	灌漑用水																				一本杉頭首工 農業用水					四ヶ村堰 農業用水								
下水処理水の流入量 (m³/s)	0.23															0.01																		
県境	静岡県															山梨県										山梨県・長野県								
勾配	1/300~1/400					1/200~1/400										1/100~1/700																		
水生生物保全類型指定(案)	生物B類型															生物A類型																		

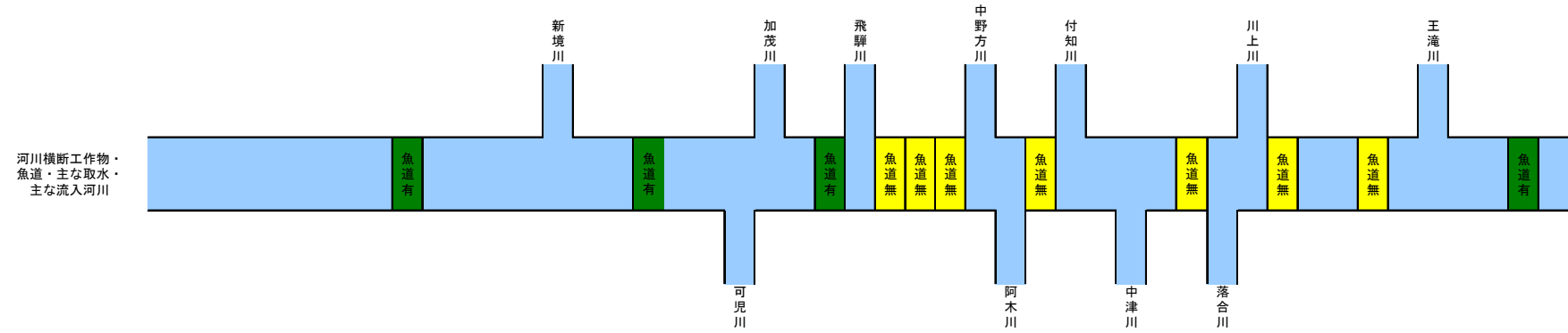
注) 蓬来橋、南部橋において既存調査(河川水辺の国勢調査等)で確認されている冷水性の水生生物は蓬来橋がヤマメ、南部橋がアマゴであり、ヒアリング情報によると、支川から降下してきた個体であると考えられる。

3. 天竜川



水系名	天竜川(5)				天竜川(4)				佐久間ダム	天竜川(3)								天竜川(2)				天竜川(1)																																			
既存生活環境項目の種類指定	AA				AA				A	A								A				B																																			
水質調査地点名 流量観測地点名等	天竜川河口	天竜川掛塚橋	浜北大橋	飛竜大橋	天竜川鹿島橋	鹿島	塩見渡橋	船明ダム	秋葉ダム下流	水口	秋葉ダム発電第2取	中部大橋	佐久間ダム貯水池ダムサイト	早木戸川合流点	平岡ダム	前宮橋	養鳥ダム	つつじ橋	天竜橋	飯田水神橋	南大島川合流点	阿島橋	田沢川合流点	宮ヶ瀬橋	天の中川橋	坂戸橋	吉瀬ダム	小鍛冶橋	天竜大橋	大井用水堰	大久保ダム	北の城橋	表木・下牧共同井堰	西島井堰	三峰川合流点	中央橋	二条橋	伊那新水神橋	大泉川合流点	橋ノ木瀬	三日町頭首工	大坂井取水堰	中井取水堰	羽場下井取水堰	伊那	新橋	横川合流点	伊那富	東天竜井堰								
kp	3.2	18		25			29.6		46.9			71		115		123.6	130.3		138.5	142			150.1		160.7			176.7			183.2	184.4		187.2	188.5			193.4				203.1	205.2	206.5	209.5			210.6									
環境基準点 ○:補助点 △:流量観測地点 □:類型区分点	●				●	△				○			●	□										○	○																									△							
魚道								○			×			×			×																																								
河川横断工物							船明ダム		水口	秋葉ダム発電第2取		佐久間ダム		平岡ダム			養鳥ダム								吉瀬ダム					大井用水堰	大久保ダム				表木・下牧共同井堰	西島井堰						三日町頭首工	大坂井取水堰	中井取水堰	羽場下井取水堰					東天竜井堰							
平均水温	平均水温15℃程度(14~16℃)												平均水温15℃程度より低温																																												
水生生物生息状況 ●:既存調査結果(河川水辺の国勢調査等) ▲:専門家へのヒアリング結果 △:漁協へのヒアリング結果	生物A								●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲					
生物B		●	△	△	●	△	△	△	△	△	●	△	△	△	△	△	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
保護水面等重要水域	保護水面 アユ																																																								
河床材料	砂や礫が主体				石や礫が主体				石が主体				泥や砂が主体				岩や石が主体				石や礫が主体																																				
低水流量 (m³/s)	140.3														61.2								30.1				11.9																														
※流量観測地点における情報を表示 出典:流量年表(国土交通省河川局編.H14)																																																									
主な取水								下流用水		三方用水																大井用水		大久保用水		農業用水		農業用水		農業用水		農業用水		農業用水																			
下水処理水の流入量 (m³/s)															0.003																0.006		0.05																0.04								
県境	静岡県												静岡県・愛知県		長野県																																										
勾配	1/560~1/1,200								1/380~1/650								1/160~1/700																																								
水生生物保全類型指定(案)	生物B類型														湖沼の生物 A				生物A類型																																						

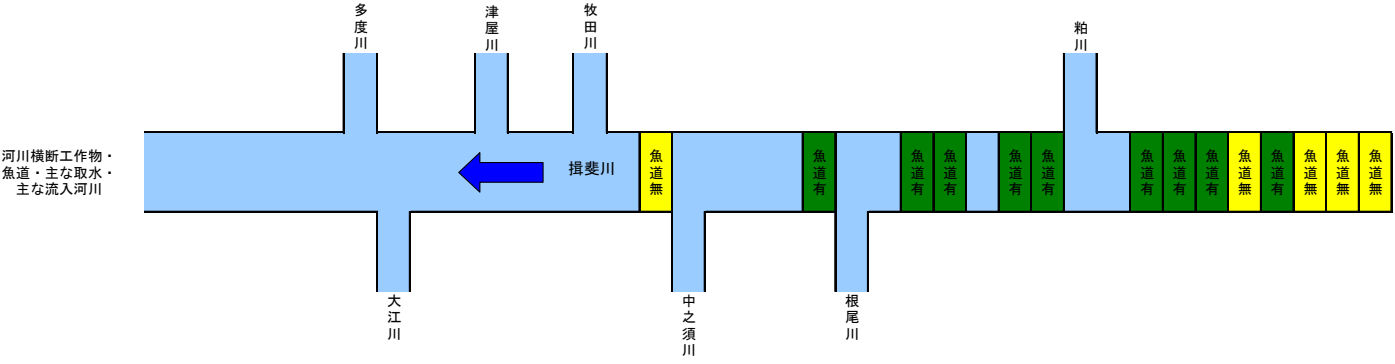
4. 木曾川



水系名	木曾川下流														木曾川中流														木曾川上流										味増川ダム
既存生活環境項目の類型指定	A														A														AA										A
水質調査地点名 流量観測地点名等	横溝蔵	尾張大橋(弥富)	木曾船頭平	東海大橋(成戸)	馬飼頭首工下流	木曾川大堰(馬飼頭首工)	西中野渡船場	濃尾大橋(起)	木曾川橋(笠松)	新木曾川大橋	川島大橋上流	愛岐大橋	犬山頭首工	犬山橋	犬山	中濃大橋	今渡ダム	兼山ダム	丸山ダム	笠置ダム	大井ダム	美恵橋	玉蔵大橋	落合ダム	山口ダム	三根橋	南木曾町読書	読書ダム	小川橋	木曾福島町田沢	新菅橋	味増川ダム							
kp		8.2	22.6		26	34	40					52	56.8	57.8																									
●:環境基準点 ○:補助点 △:流量観測地点 □:類型区分点		●	○	○			●	○				○	□	●	△			●				○		●	□		○		○		○	●							
魚道						○							○					○	×	×	×			×		×		×				○							
河川横断工作物						木曾川大堰(馬飼頭首工)						犬山頭首工					今渡ダム	兼山ダム	丸山ダム	笠置ダム		大井ダム		落合ダム		山口ダム		読書ダム				味増川ダム							
平均水温	平均水温15°C程度より高温														平均水温15°C程度(14~16°C)														平均水温15°C程度より低温										
水生生物生息状況	生物A		●		○		△		▲		●		○		△		▲		●		○		△		▲		●		○		△		▲		●				
保護水面等重要水域																																							
河床材料	砂が主体														石や礫が主体										礫・石・岩														
低水流量 (m³/s)	135.8																																						
主な取水	木曾川用水等														農業用水等										愛知用水										東濃用水				
下水処理水の流入量 (m³/s)	0.01																																	0.01	0.01				
県境	三重県				岐阜県				愛知県・岐阜県										岐阜県										長野県										
勾配	水平~1/5,000				1/4,500				1/420~1/800				1/330~1/630										県管理区間																
水生生物保全類型指定(案)	生物B類型														生物A類型										湖沼の生物A														

勾配急変点

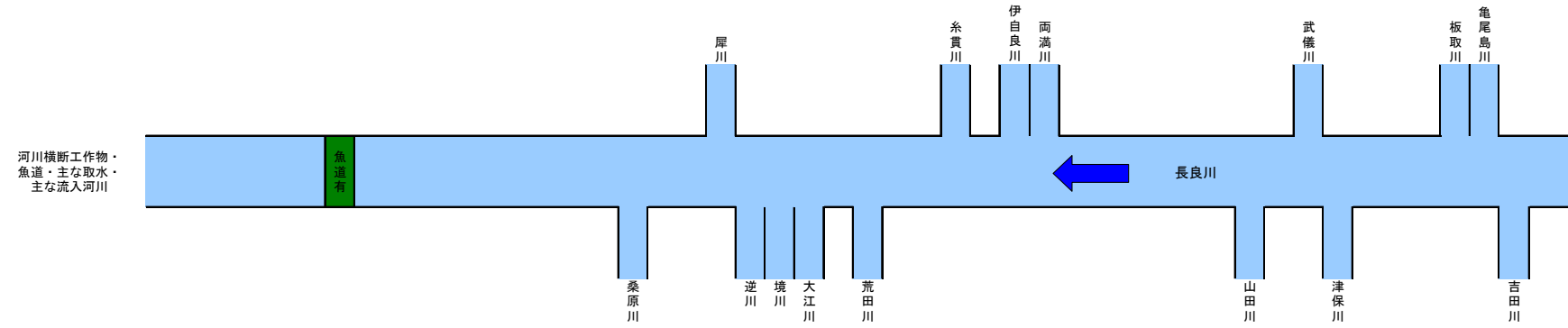
5. 揖斐川



水系名	揖斐川(4)	揖斐川(3)		揖斐川(2)											揖斐川(1)				横山ダム											
既存生活環境項目の種類指定	A		A		AA											AA				A										
水質調査地点名 流量観測地点名等	伊勢大橋	前川橋門	七取橋門	多度川合流点	海津橋	福岡大橋	脳野排水機場	大樽川水門	牧田川合流点	福東大橋	難波野床固	大垣大橋	揖斐大橋	万石	第5号床固	第7号床固	第6号床固	平野庄橋	第8号床固	第1号床固	岡島橋	岡島頭首工(前島橋)	第3号床固	第2号床固	第4号床固	西平ダム	久瀬ダム	横山ダム	徳山ダム	
kp	5.8				19.4	23.5		26.9			34.4				42	44.7	46.9	49.5		54.8	56.6	56.7	56.9	57.1	58.4	59.4				
●:環境基準点 ○:補助点 △:流量観測地点 □:類型区分点	●			□		○	●		□					△		●						●	○						○	
魚道											x				○								○	○			x	○	x	x
河川横断工作物											難波野床固				床固第5号		第7号床固	第6号床固	第8号床固	第1号床固		岡島橋	岡島頭首工(前島橋)	第3号床固	第2号床固	第4号床固	西平ダム	久瀬ダム	横山ダム	徳山ダム
平均水温	平均水温15°C程度より高温				平均水温15°C程度(14~16°C)											平均水温15°C程度より低温														
水生生物生息状況 ●:既存調査結果(河川水辺の国勢調査等) ▲:専門家へのヒアリング結果 △:漁協へのヒアリング結果	生物A																													
保護水面等重要水域																														
河床材料	砂が主体				礫が主体				石や礫が主体																					
低水流量 (m³/s)	29.3				29.3				39.7				39.7																	
主な取水																														
下水処理水の流入量 (m³/s)				0.02		0.003		0.04																						
県境		三重県		三重県 岐阜県																										
勾配		水平~1/8,000		1/1,000~1/9,000		1/1,000~1/9,000		1/280~1/450		1/280~1/450		1/280~1/450		1/280~1/450		1/280~1/450		1/280~1/450		1/280~1/450		1/280~1/450		1/280~1/450		1/280~1/450		1/280~1/450		
水生生物保全類型指定(案)																														

勾配急変点

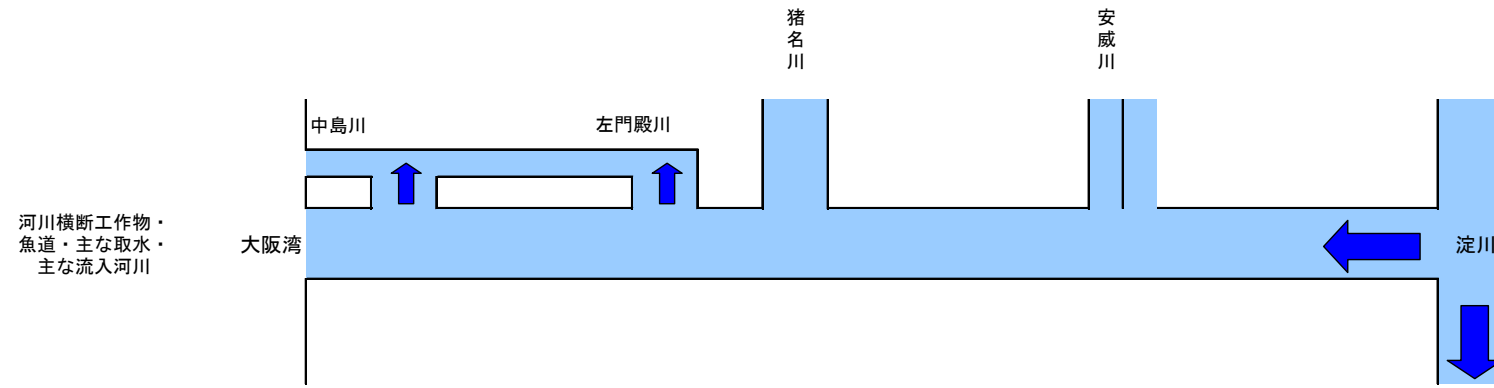
6. 長良川



水系名	長良川下流															長良川中流															長良川上流												
既存生活環境項目の類型指定	A															A															AA												
水質調査地点名 流量観測地点名等	桑名沖干潟	城南沖干潟	長良川河口堰下流	長良川河口堰	伊勢大橋	掛妻長良川上流左岸	掛妻長良川上流右岸	福原橋管	福原橋管左岸	長良川大橋上流	東海大橋下流左岸	東海大橋下流右岸	東海大橋	南濃大橋	大敷大橋					長良大橋	穂積大橋下流	穂積大橋		伊自良川合流点	鏡島大橋	鏡島大橋上流	忠節	長良橋	日野	千鳥橋下流	藍川橋		鮎之瀬橋	下渡橋	美濃	板取川合流点	吉田川合流点	和合橋	向山橋				
kp				5.4	5.9							22.6	28							39.2	42.9				47.6		52.8		59.4			67.2	73.4					116.3					
●:環境基準点 ○:補助点 △:流量観測地点 □:類型区分点					●								○	○						●	△	○		□	○	○	△	○		●		●	○	△				□	●	○			
魚道	○																																										
河川横断工作物	長良川河口堰																																										
平均水温	平均水温15℃程度より高温															平均水温15℃程度(14~16℃)															平均水温15℃程度より低温												
水生生物生息状況 ●:既存調査結果(河川水辺の国勢調査等) ▲:専門家へのヒアリング結果 △:漁協へのヒアリング結果	生物A		△																																								
	生物B		△																																								
保護水面等重要水域	保護水面・アユ																																										
河床材料	砂が主体															礫や砂が主体															礫が主体		石や礫が主体										
低水流量 (m³/s) ※流量観測地点における情報を表示 出典:流量年表(国土交通省河川局編,H14)	63.3															57.5															36.4												
主な取水																																											
下水処理水の流入量 (m³/s)																0.05															0.03		0.001 0.05 0.04										
県境	三重県							岐阜県・愛知県								岐阜県																											
勾配	水平~1/5,000															1/1,500~1/6,000															1/650												
水生生物保全類型指定(案)	生物B類型															生物A類型																											

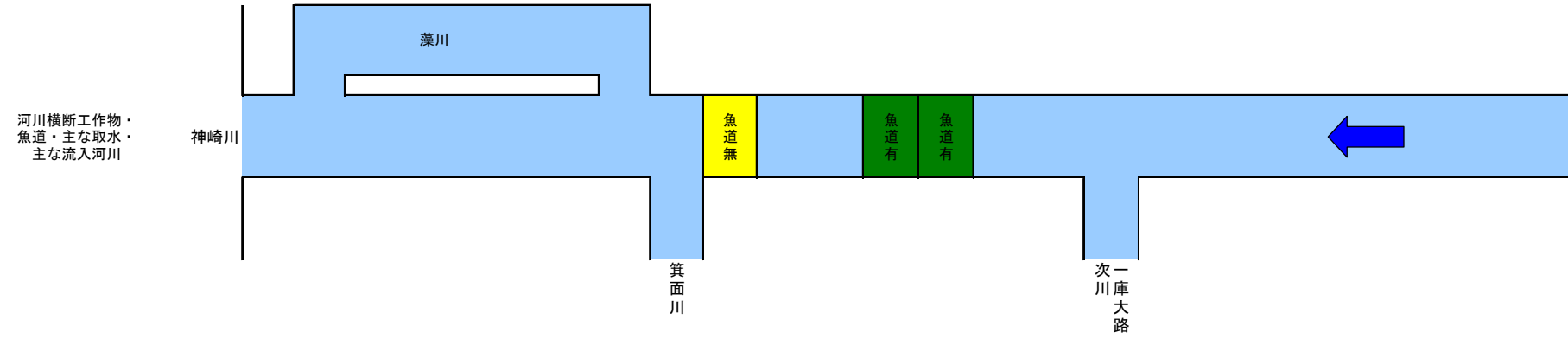
勾配急変点

8. 神崎川



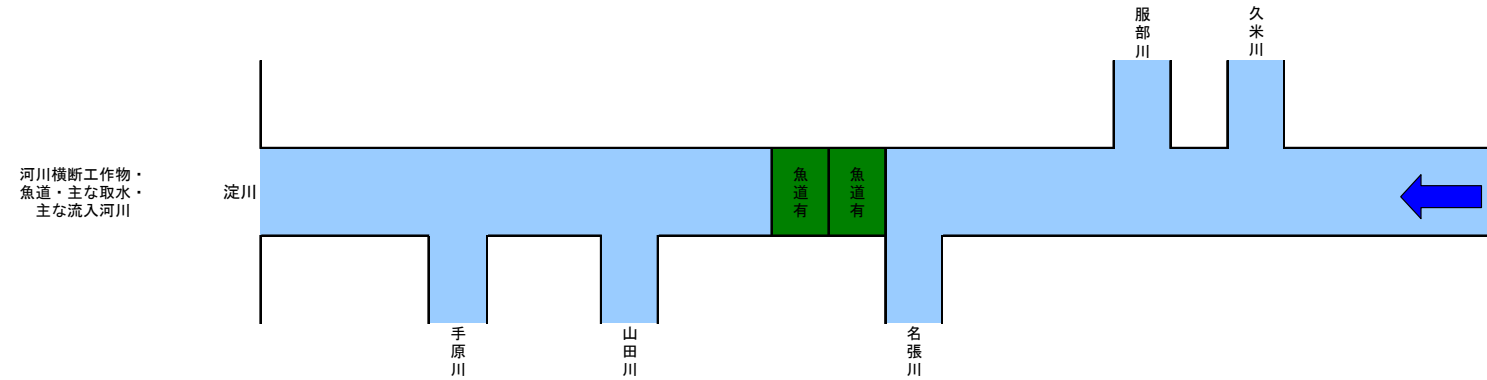
水系名		神崎川																	
既存生活環境項目の類型指定		B																	
水質調査地点名 流量観測地点名		神崎川河口	中島川分岐点	辰巳橋	左門橋	(千船大橋) 千船橋	左門殿川分岐点	神崎橋	猪名川合流点	神州橋	新三國橋	榎木橋	大吹橋	安威川合流点	小松橋	小松橋上流(番田水路合流点)	番田水路	江口橋	一津屋取水場前
距離標 (kp)																			
●:環境基準点 ○:補助点 △:流量観測地点 □:類型区分点				●	○	●		○			●				○				
魚道																			
河川横断工作物																			
平均水温		← 平均水温15°C程度より高温																	
水生生物生息状況 ●:既存調査結果(河川水辺の国勢調査等) ▲:専門家ヒアリング結果 △:漁協ヒアリング結果	生物A																		
	生物B	△		△	△	●		●		●	△	●	●	●	△	●	●	●	●
河岸植生(水草)		← 水草(沈水植物)が分布																	
低水流量 (m3/s)	流量																		
	14																		
	10																		
	5																		
府県		兵庫県														大阪府			
計画河床勾配		1/1800							水平										
感潮域		[Red shaded area]																	
水生生物保全類型指定(案)		[Orange dashed box labeled 生物B類型]																	

9. 猪名川



水系名	猪名川下流(1) (藻川を含む範囲。ただし、下流(2)は含まない)										猪名川上流															
	猪名川下流(2)										A (改定予定)															
既存生活環境項目の類型指定	B					D					A (改定予定)															
水質調査地点名 流量観測地点名	神崎川合流点	藻川合流点	藻川橋	中園橋	戸の内橋	利倉橋	神津大橋付近	藻川分岐点	箕面川合流点	三ヶ井井堰	軍行橋	呉服橋	池田井堰	加茂井堰	銀橋	多田浄水場取水点	一庫大路次川合流点	ゴルフ橋/虫生	中谷橋	屏風岩橋	木津	古南橋	出合橋	杉生	北谷橋	
距離標 (kp)	0	0.5	0.7	2.8	0.7	2.7		6.0	7.0	7.3	7.9	10.7		12.0	13.8											
●:環境基準点 ○:補助点 △:流量観測地点 □:類型区分点			○	○	○	▲		□	□		● △	○			●	○		○ △								
魚道										×			○	○												
河川横断工作物										三ヶ井井堰			池田井堰	加茂井堰												
平均水温	← 平均水温15℃程度より高温										→ 平均水温15℃程度(14~16℃)															
水生生物生息状況 ●:既存調査結果(河川水辺の国勢調査等) ▲:専門家ヒアリング結果 △:漁協ヒアリング結果	生物A																	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	生物B	△	△	●	△	●	●	△	△	△	●	●	△	△	△	△	●	△			●			△	△	
保護水面等重要水域																										
河床材料	← 泥が主体 (猪名川本流)										→ 砂礫・石															
低水流量 (m3/s)	流量										0.98														2.2	
	2																									
	1																									
	0																									
府県	← 大阪府										→ 兵庫県															
計画河床勾配	1/705					1/408					1/350					1/330										
感潮域	← 感潮域 (赤色)																									
水生生物保全類型指定(案)											← 生物B類型 (オレンジ色)										→ 生物A類型 (青色)					

10. 木津川

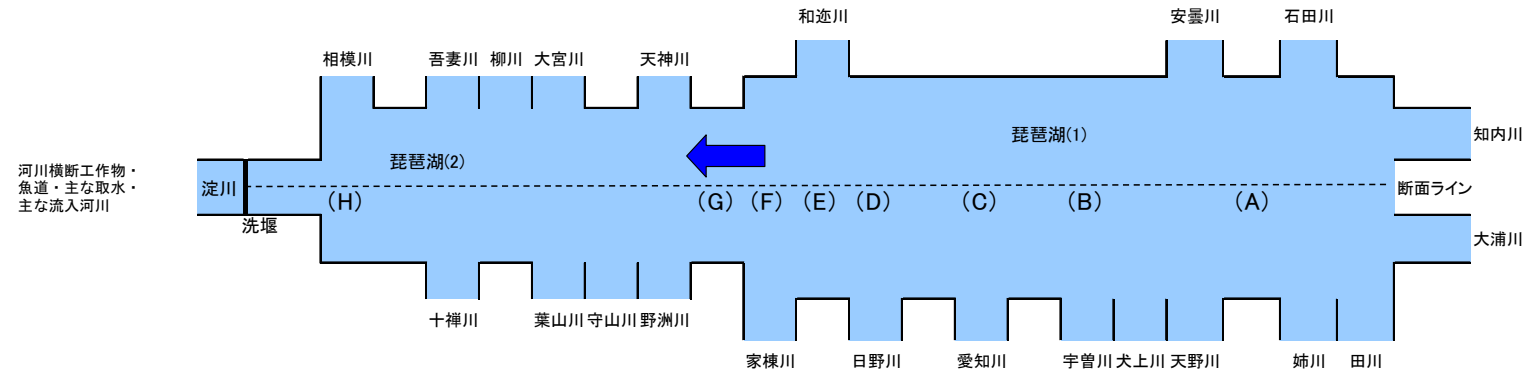


水系名		木津川(3)										木津川(2)					木津川(1)							
既存生活環境項目の類型指定		A										A					A							
水質調査地点名 流量観測地点名		淀川合流点	木津川御幸橋	八幡	木津川流入前 (手原川)	山城大橋	玉水橋	木津川流入前 (山田川)	恭仁大橋	笠置	相楽発電所 取水堰	大河原発電所 取水堰	名張川合流点	笹瀬橋	島ヶ原大橋	岩倉橋	服部川合流点	長田橋	久米川合流点	大野木橋	塚原橋	中山橋	久保橋	
距離標 (kp)		0	1.2	2.0	10.1	13.7	16.2	21.9	30.8	37.2			46.8	47.7	51.9	57.3	57.8	59.3	60.5	61.2				
●:環境基準点 ○:補助点 △:流量観測地点 □:類型区分点			● △		●		● △	●	● △				□	●	●	●		○	□	●				
魚道											○	○												
河川横断工作物											相楽発電所取水堰	大河原発電所取水堰												
平均水温		← 平均水温15°C程度より高温										← 平均水温15°C程度(14~16°C)					← 平均水温15°C程度より低温							
水生生物生息状況 ●:既存調査結果(河川水辺の国勢調査等) ▲:専門家ヒアリング結果 △:漁協ヒアリング結果	生物A																				△	△	△	△
	生物B			●	△	●	△	△	△	●	△	△	△	△	△	●	△	△	△	△	●			●
保護水面等重要水域																								
河床材料		← 砂・礫が主体																		← 礫		← 岩		
低水流量 (m3/s)	流量						18.51																	
	Z0																							
	Z10																							
	Z20																							
府県		← 京都府										← 三重県												
計画河床勾配		1/500~1/1,300										1/540	1/145	1/220	1/310									
水生生物保全類型指定(案)		← 生物B類型										← 生物A類型												

↑ 勾配急変点

↑ 勾配急変点

1.1. 琵琶湖



水系名		琵琶湖(2) (南湖)										琵琶湖(1) (北湖)									
既存生活環境項目の類型指定		AA・II										AA・II									
水質調査地点名 (●: 環境基準点、○補助点)	右岸	大津沖	三保ヶ沖	柳ヶ沖	唐崎沖	大宮川	雄琴沖	堅田沖	琵琶湖大橋	丹出川	ほうら	南比良	北小松	大溝沖	安曇川	外が浜	今津沖	知内川			
	中央	沖中央	沖中央	沖中央	唐崎沖	大宮川	雄琴沖	中央	琵琶湖大橋	丹出川	ほうら	南比良	北小松	大溝沖	安曇川	外が浜	今津沖	知内川			
	左岸	沖中央	沖中央	沖中央	川伊	志那沖	杉江沖	木ノ浜	琵琶湖大橋	吉川港	日野川	長命寺	愛知川	石寺沖	彦根港	天野河	沖・姉川	早崎港			
距離標 (kp)																					
□: 類型区分点										□											
魚道																					
河川横断工作物																					
平均水温		平均水温15℃程度より高温																			
水生生物生息状況 ●: 既存調査結果(河川水辺の国勢調査等) ▲: 専門家ヒアリング結果 △: 漁協ヒアリング結果	生物A	右岸															●				
		中央																●			
	生物B	右岸	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		
湖底地形		全域水深10m以下で、起伏は無い。										水深は概ね10~90mで、沿岸は10m以下。ほうらい沖中央~知内川沖中央までは水深50m以下で、今津沖~外ヶ浜沖周辺で90mに達する。									
水深m (断面)	断面記号	(H)	(G)	(F)	(E)	(D)	(C)	(B)	(A)												
	0																				
湖底材料		全域、泥が主体。										湖岸域は砂・砂質泥・砂礫で、湖中央部は泥が主体。									
低水流量 (m3/s)	流量																				
	14																				
	10																				
	5																				
主な取水																					
下水処理水の流入量 (m³/s) (平成14年度実績)		1.098	2.205		0.608						0.014	0.002			0.729		0.088				
県		滋賀県																			
計画河床勾配																					
水生生物保全類型指定(案)		生物B類型										生物A類型									